

女性奮闘記 農業委員

～ひとと人の出会い、つながりを大切に!!～

ひとと人の出会い、 つながりを大切にしたい

京都市農業委員会には、4名の女性農業委員が在籍しています。

縁があって、就任した農業委員。せっかくな
ら、許認可などの業務以外にも“自分たちの持
ち味を生かした活動ができないか?”という発
想から始めたのが「食育活動」と「ひとと人をつ
なぐ活動」です。



縁結び活動『レッツ! 農憩』 のうこん

とりわけ、平成24年度からは、手づくり感満
載の取組“レッツ! 農憩”に力を注いでいます。
これは、単なる「婚活」としてではなく、「農」
業に関連する人達が「憩」談を通じて情報交
換ができる機会、**参加者の縁結びを意識しつ
つ**、まずは、ひとと人がつながる機会を作るこ
と、農家女性らしい手作りの企画にしたいと
いう想いを込めた取組みです。レッツ! 農憩で
は、30名前後の参加者ひとり一人が主役と
なって楽しい時間を過ごしていただき、毎回4、
5組のカップルが誕生するのですが、実を結ぶ
ところまでは……というのが現実。

でも、参加者の声に耳を傾け、イベント終了
後の相談にも可能な限り汗をかく! こうした地
道な取り組みの結果、昨年には念願の吉報を
いただくことができ、「参加してよかったとい
う声」が、私たちの新たな活動の原動力となっ
ています。

まだまだこれから!

当面の課題は、ズバリ「人集め」。興味のある
方は多いはずですが“参加者が思うように
集まらない”ということ。参加への一歩が踏み
出せる工夫が必要なようです。

“レッツ! 農憩”の取組は、まだまだ手探り
状態ですが、今年度も農家女性ならではの感
性を生かし、少しでも多くの方々が、気兼ねな
く参加いただけるようバージョンアップして取
り組んで参りますので、興味のある方は、お気
軽に農業委員又は農業委員会事務局へお声掛
けください。

私たちがお手伝いします!



中村委員 溝川委員 乾委員 小島委員

京都市 第30号 農委だより



左から長男の感君、克也さん、夢さん
次男の禮君、義母様の後藤和枝さん



『山本有機農園』

頑張っている農業者

山本 克也さん & 夢さん (左京区大原)

左京区大原地域で、平成24年に新規就農された
山本克也さんは、「大原の風景が大好きで、就農す
るなら“大原”と決めていました。」と力強く話して
くれました。現在は約70aの農地で、奥様と二人で露
地野菜を多品目栽培され、取材時は、色とりどりの
ジャガイモを収穫中でした。「混ぜて売ると色ど
りも良く、食べ比べもできると好評です。」と教えてく
れた奥様の夢さん、その横では、長男の感くんが、身
の丈程の大きなシャベルでお手伝いしていました。

山本さんは、「大原里の駅では対面販売で信頼を
得ることができるけど、そうでない場所で、自分の野

菜を手にしてもらう一つのきっかけになれば」との
思いから、平成25年12月に有機JASの認定を取得
されました。自分たちの想いを積極的に消費者に伝
えたい! そのことは、今年の2月に開設されたホーム
ページ (<http://www.koyof.com>) や夢さんの「嫁
さんブログ」からもヒシヒシと伝わってきます。

しっかりと志を持って就農
された山本さんには、地域の担い
手として更なる御活躍を期待して
います。

(取材：岡本弥一郎委員)



農地ことは
農業委員会へ!

所在地：京都市中京区寺町通御池下る下本能寺前町522 本能寺文化会館2階
TEL:075(212)9050, FAX:075(212)9084

京北窓口/所在地：京都市右京区京北周山町上寺田1-1 京北合同庁舎1階
TEL:075(852)1825, FAX:075(852)1827

ホームページアドレス
<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/32-11-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

農業委員会の掲示板

安心して農地を 貸借できる制度等を活用して、 農地の遊休・荒廃化を 未然に防止しましょう!!



増える荒廃農地

京都市農業委員会では、農地調査協力員等の協力を得て、農地の利用状況調査や農地パトロールに取り組んでいます。

この調査では、荒廃農地の改善指導をはじめ、農地法の許可を得て取得や転用された農地が、目的どおりに利用されているかを点検し、適正に利用されていない場合は、その改善を促しています。

昨年1年間に約3.1haの荒廃農地が除草や耕作を再開されましたが、新たな荒廃農地の発生等により、平成26年3月末現在の市内全体の荒廃農地は14.2haとなっています。



※農地中間管理機構とは・・・

農業従事者の減少や耕作放棄地が増加する中、担い手への農地の集積と集約化を加速し、農業の生産性の向上を図るため、農業振興地域内の農地を中間管理（貸付意向のある農家から農地を借り上げ、担い手農家等の借受希望者にその農地を貸付ける）する組織として都道府県にひとつに限り、知事が指定した機関。

京都府では、公益社団法人京都府農業総合支援センターが農地中間管理機構に指定されました。



こんな制度があります!

農地の遊休・荒廃化の主な原因は、農業労働力の減少、相続による土地持ち非農家の発生、野生鳥獣害などが考えられますが、農地が管理されずに雑草が繁茂すると、周辺農地への病虫害や野生鳥獣害の更なる誘引、不法投棄や防犯上のトラブルが懸念されるため、適正な管理が強く求められます。

市街化区域以外の農地では、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定を活用し、第三者へ貸す場合、離作補償の心配がなく、相続税納税猶予の制度活用も可能となるなどのメリットがあります。

行政が仲介する安心して貸借できる制度なので、ご自身で農地管理が困難な場合には是非御検討ください。

また、本年7月には、京都府にも農地中間管理機構^{*}が立ち上げられ、農業振興地域内の農地をより安心して貸借が行える制度も稼動しています。

<農地中間管理機構に関するお問い合わせ先>

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館2F
TEL.075-417-6847 (京都アグリ21) FAX.075-441-5742 (共通)
<http://www.agr-k.or.jp/~kyoto-j/information/k-agri21.html>

★がんばれ! 地産地消の取り組み★

58回目の「久我ふれあい朝市」開催 継・続・は・力・な・り・!

「久我ふれあい朝市」は、伏見区久我地域で毎月第3土曜日に開催されており、8月16日の開催が58回目となりました。

この朝市は、農家はじめ地域住民等で構成する久我・久我の杜、羽束師地域まちづくり協議会の農業・川部会が運営されています。現在、33名の農家が農産物等を出品しており、地域の方々と農家が世間話や料理方法などの情報交換を通じて交流する絶好の場所となっています。

毎回、開店と同時に大勢の買物客で賑わい、品物は早々に完売しますが、買い物に訪れた方から「前に買った野菜が美味しかった」「目当ての品があってよかった」という声が飛び交い、出品者の生産意欲に火を付けます。

まちづくりの一環として、地域住民と協働で運営される貴重な朝市。地産地消の取り組みとして継続し、更に発展していくことを御期待します。



「じねんと市場」本格稼動に手ごたえあり!!



地下鉄竹田駅の西側に位置する「スーパー銭湯 力の湯」の敷地内で、試行運営してきた農産物の直売所が、昨年11月に「じねんと市場」としてオープン。施設は内装、外装ともに杉を贅沢に用い、モダンでありながら、心安らぐ杉の香りや温かみが「じねん（自然）」をさりげなく主張しています。

農産物等はトレーサビリティシステムにより管理され、消費者からは生産者が見え、安心して買い物ができるとのこと。

ここでは、出荷農家が規格や価格を決定するそうです。出荷農家にとっては、併設された「じねんと食堂」「スーパー銭湯 力の湯」「フットサル」「フィットネス」の利用者による購入も多く見受けられるなど、多様な客層が期待できるといった魅力があるようです。

じねんと市場へのお客農家登録は、インターネットのホームページから常時申し込みが可能とのことです。



「じねんと市場」に関するお問い合わせ先

京都市伏見区竹田青池町125 (「スーパー銭湯 力の湯」隣接)
TEL.075-646-0831 FAX.075-642-0077 <http://jinento.com>

(取材：乾清絵委員)